

# 花のピーアールイベントは どのようなものを計画しているか

「あいち花フェスタ2017」が本市をメイン会場に開催予定



岡本 禎稔  
自民クラブ

## 花き振興施策について

**問** 都市圏がターゲットの花き販路拡大事業の内容は。  
**答** 首都圏の生花店などに、田原市産の花を飾ってもらい、ポスターなどを活用し、プロモーションを行う。協力店舗は6店舗で、合計12回実施する。

**問** 「ビクトリーブーケプロジェクト」とは。  
**答** 国内外の水泳大会などで花を使った施設装飾や、表彰式でのビクトリーブーケ（花束）の活用を推進する事業。

**問** 市とJA愛知みなみで取り組んでいるビクトリーブーケプロジェクトのピーアール効果の評価は。  
**答** 表彰式などで使用され、フェイスブックなどに情報発信されるため、本市の花の知名度をあげるピーアール効果はかなり高いと考える。

**問** 2月14日に実施したフラワーバレンタイン関連のイベント内容は。  
**答** 蔵王山展望台、田原文化会館、三河田原駅に花でディスプレイしたフォトスポットを設置。ポスターとチラシを作製し、大切な人に花を贈ってもらうようプロデュースした。

**問** 来年度以降の花のピーアールイベントはどのようなものを計画しているのか。

**答** 東三河産の色とりどりの花で来訪者をもてなす「あいち花フェスタ2017」が、平成30年2月に本市総合体育館をメイン会場に実施される。

**問** 「渥美半島 花の超祭典」や「あいち花フェスタ2017」など、花の祭典を毎年開催しては。

**答** 産地から花をピーアールする大変効果的な事業。生産者が主体となって活躍できる事業を関係者と一緒に考えていく。



## 水道施設の今後の更新計画は

管路更新などを15年間でを行う計画である



辻 史子  
公明党田原市議員

安定的な水の供給を確保するための水道事業の現状と将来の見通しについて

**問** 水道施設の今後の更新計画は。  
**答** 施設の電気計装設備の更新、配水池の統廃合と配水区域の再編、102キロメートルの管路更新などを15年間でを行う計画。

**問** 管の繋ぎ手部分に伸縮性や管の抜け出しを防ぐ機能を有する耐震管の採用は。  
**答** 伸縮性を持つポリエチレン管の融着継手タイプとダクタイル鉄管の耐震継手タイプを使用している。今後湧き水の有無など現場の条件にあったものを積極的に採用したい。